

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 004	提案機関名 (一社)神奈川県園芸協会
要望問題名 神奈川県に適したシャインマスカットの栽培方法等について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 県内ブドウ生産者のほとんどがシャインマスカットを栽培している。 販売は直売が主体であり、食味や食感を重視し、そのレベルを保った上で、粒の大きさや粒の数について生産者が試行錯誤している状況である。 そのため、神奈川県に適したシャインマスカットの栽培について研究をお願いしたい。 また、黒とう病の発生は、従来品種の藤稔でも発生していたが、シャインマスカットを栽培するようになると、新梢、葉、果粒に発生が目立ち、従来どおりの防除が困難になってきた。 そこで、当該病害に有効な農薬の選定と組み合わせを考慮した防除体制について研究を要望したい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課、生産環境部病害虫研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合) I-2 (3) 落葉果樹の高品質・安定生産技術の開発 ウ 直売向けブドウ新品種の安定生産技術の確立    (ア) シャインマスカットにおける適正果房重の検討			
対応の内容等 これまで‘シャインマスカット’については、生育期の摘心による高品質化(平成26年度成果)、省力化と新規商材開発を目指した小房栽培(実施中)に取り組んでいます。令和2年度からは房重と糖度・10粒重などの関係から当県に適した‘シャインマスカット’の適正果房重を探るべく、上記課題に取り組んでいます。 ブドウ黒とう病は特に欧州系ブドウで問題となる病害ですので、当県でもシャインマスカットの栽培面積の増加により、これまでよりも発生が多くみられるようになってきております。黒とう病防除に関する試験としては、過去に山梨県、長野県などで行われており(「ブドウ黒とう病に効果の高い防除体系」山梨県平成25年成果情報、「ブドウ黒とう病の発芽前防除」長野県平成30年成果情報)、本県としても黒とう病対策を強化した防除暦を各生産者部会等で使用し始めたところです(シャインマスカット混植園での防除薬剤に、令和1年より、休眠期のデランフロアブルの散布を追加、令和2年より4月中旬のオンリーワンフロアブル散布、5月中旬のオーソサイド水和剤80加用フルーツセイバー散布を追加、5月下旬の散布薬剤を黒とう病多発園ではオーソサイド水和剤80に変更)。今後も発生状況をみながら防除暦を改良していくと考えられますので、その際、他県の試験成績、防除薬剤等に関する情報提供を行います。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			